

ご挨拶

本日は、凸版印刷株式会社 元会長 藤田弘道の「お別れの会」にご多用のところご参会賜りまして誠にありがとうございました。

故人は、昭和28年に凸版印刷に入社以来、主に営業部門で活躍し、平成3年社長就任、その後の会長時代を含め20年にわたり凸版印刷の陣頭指揮を執りました。社長就任時の日本経済はバブル崩壊による多難な時代でしたが、故人は21世紀には「情報革命」が急速に進展すること、また「グループ総合力」「環境経営」などが重要となることなどを早くから予見し、「超印刷」をキーワードに、様々な事業分野への進出と拡大を図りました。当社が後に「情報コミュニケーション産業」を標榜した礎はこの当時に築かれた、と言っても過言ではありません。

また、平成7年、日本印刷産業連合会・印刷工業会の会長に就任以来、12年にわたり一貫して印刷産業の振興と地位向上に尽力するとともに、日本経済団体連合会や東京商工会議所、経済同友会の要職を歴任し、産業界における労働政策の推進や、サービス化・情報化に対応すべく規制緩和や啓蒙活動などを積極的に行い、印刷産業界にも多大な貢献をしました。

「人間尊重」と「深沈厚重」。これは故人の「人となり」をよく表した言葉です。「人間尊重」は経営方針でもあり、業績の悪い時こそ社員の元気が大切で、部下の能力を最大限引き出すのが経営者の役目であると常々述べておりました。「深沈厚重」は営業課長時代、猪突猛進型の営業活動で倒れ、病床にあった折に読んだ本で出合ったその言葉に共感し、常に冷静に先を見据え、落ち着いて動じないことこそ自分の生き方であると悟り、それを座右の銘としました。まさにその言葉通り「深沈厚重」に徹した生涯であったといえましょう。「人間尊重」の考え方は凸版印刷において深く根づいており、私どもはその遺志を受け継ぎ、「人財」を活かした社会価値創造企業として存在意義を確かなものとして参る所存でございます。

ここに、故人が生前皆さまから賜りました数々のご厚情、ご厚誼に対しまして、謹んで御礼申し上げます。

平成30年7月9日

凸版印刷株式会社

代表取締役会長 足立直樹



社長室に長年飾っていた座右の銘「深沈厚重」。
板橋事業部時代の同僚にプレゼントされた書。

藤田弘道

お別れの会

平成30年7月9日(月)

帝国ホテル 本館2階「孔雀の間」

職 歴

昭和 3年 3月21日 静岡県生まれ
昭和28年 3月 東京大学経済学部卒業
昭和28年 4月 凸版印刷株式会社 入社
昭和55年 8月 同社 取締役就任
昭和60年 8月 同社 常務取締役就任
昭和62年 8月 同社 専務取締役就任
平成元年 4月 同社 取締役副社長就任
平成 2年 6月 同社 代表取締役副社長就任
平成 3年 6月 同社 代表取締役社長就任
平成12年 6月 同社 代表取締役会長就任
平成22年 6月 同社 相談役就任
平成28年 6月 同社 名誉顧問就任

団体・公職歴

平成 7年 6月 社団法人日本印刷産業連合会 会長
平成 8年 7月 文化庁国語審議会 委員
平成 9年 6月 財団法人高齢者雇用開発協会 会長
平成14年 5月 社団法人日本経済団体連合会 労働法規特別委員長
平成19年11月 東京商工会議所 サービス・情報産業部会長

印刷工業会 会長
東京経営者協会 常務理事
社団法人経済同友会 幹事
財団法人知的財産研究所 理事
財団法人日本容器包装リサイクル協会 理事
財団法人マルチメディアコンテンツ振興協会 副会長
など多数を歴任

栄 誉

平成11年 4月 勲二等瑞宝章受章
平成30年 3月 従四位叙位

想 い 出



天皇陛下が川口工場をご視察



「TOPPAN FAIR 2000」オープニングのテープカット



「故宫文化資産デジタル化応用研究所」の開所式



愛犬とともに



長女とのテニス



藤田弘道

平成30年3月13日逝去(享年89)